

IBM Tivoli Storage Manager FastBack

ハイライト

- **データ・センター、リモート・オフィス、および支店のすべてに、Microsoft® Windows® サーバー用の継続的なデータ保護とリカバリー管理を提供**
- **どのようなデータ損失が起こった後でも、バックグラウンドで完全なデータ・リカバリーを実行しながら、数分以内にアプリケーションはユーザーから稼働可能に**
- **変更データをブロック・レベルで継続的に収集することにより、従来のバックアップ・ウィンドウが不要**
- **柔軟なポリシー・ベースの設定に基づく自動データ転送をスケジュール可能**

競争が激しく常に変化する今日のビジネス環境では、データの損失や重要なアプリケーションへのアクセスが長時間にわたってできなくなることに容易に耐えられる企業は、その規模にかかわらず、ありません。データ損失が発生する要因は、過失による削除や悪意のある削除から、ウイルスによる攻撃、ディスクやシステムの障害、局地的な災害まで数多く存在します。こうした状況はそれぞれ、データの保護とリカバリーを行って重要なアプリケーションをオンライン状態に戻すための固有のアプローチを必要とします。

IBM Tivoli® Storage Manager FastBack™ は、Microsoft Windows サーバーで継続的なデータ保護およびリカバリー管理を行う次世代プラットフォームです。

この製品には、最先端の特許取得済みのテクノロジーが多数組み合わせられており、基幹業務アプリケーションのための幅広いデータ保護とリカバリーのソリューションを、データ・センター、リモート・オフィス、および支店のいずれにも提供します。

Tivoli Storage Manager FastBack は、特に IT 部門の人員が不足しがちな小規模オフィスやリモート・オフィスでのテープの使用に取って代わることができます。大規模オフィスやデータ・センターでは、IBM Tivoli Storage Manager など既存のテープ・バックアップ・アプリケーションと統合でき、バックアップ・ジョブを実行するためにアプリケーションをシャットダウンする必要性をなくすと同時に、中間的なディスク・ベースのレイヤーを提供してバックアップおよびリカバリー機能の実行速度を大幅に向上させます。

Tivoli Storage Manager FastBack は、以下をはじめとする幅広いデータ保護やリカバリーのニーズに対して柔軟性と費用効果の高いソリューションを提供します。

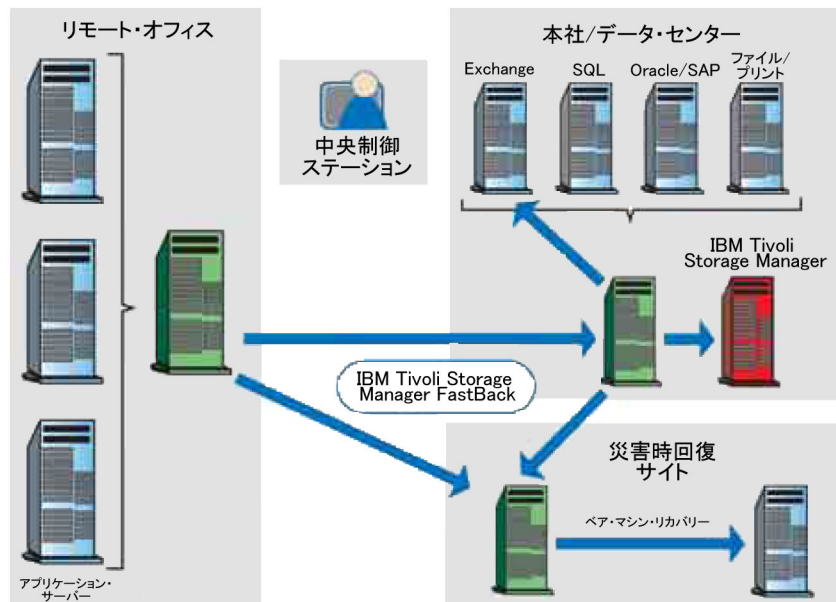
- 基幹業務アプリケーションの保護とリカバリー** Tivoli Storage Manager FastBack は、あらゆる Windows アプリケーションのいかなるデータ資産でもほぼ瞬時にリストアする機能を備え、介入の不要なデータ・バックアップを必要な回数だけ取ることができます。このため、Microsoft Exchange、Microsoft SQL Server、Oracle、IBM DB2[®]、および SAP に最適です。

- リモート・オフィス・バックアップの統合** Tivoli Storage Manager FastBack をリモート・オフィスで使用すれば、テープの機能をはるかに上回る、自動化された使いやすいバックアップとリカバリーのソリューションが得られます。このソフトウェアの統合された災害時回復機能を使用して、リモート・データのコピーを中央サイトまたは災害時回復サイトに送信します。

- 統合されたブレード・サーバー・バックアップ** Tivoli Storage Manager FastBack をスペアのブレード・サーバーにインストールすると、筐体内部の他のすべてのブレードを保護するために使用できます。

継続的なデータ保護

Tivoli Storage Manager FastBack は、保護するシステムのオーバーヘッド



IBM Tivoli Storage Manager FastBack は、基幹業務アプリケーションのための完全なデータ保護およびリカバリーのソリューションを、データ・センター、リモート・オフィス、および支店のいずれにも提供します。

を極めて低く抑えながら、データの変更をブロック・レベルで継続的に収集するため、従来のバックアップ時間枠が必要なくなります。この製品の柔軟なポリシー・エンジンは、データの保護および保存に対するアプリケーション・ベースの厳しい要件を満たすようにリカバリー・サービス・レベルを向上させるとともに、管理者が IT リソースを最大限に活用できるようにします。また、Tivoli Storage Manager FastBack は、ほぼ瞬時にリストアを行う独自の機能も提供しており、どのようなデータ損失が起こった後でもバックグラウンドで完全なデータ・リカバリーを実行しながら、数分以内にアプリケーションとユーザーを稼働中に戻します。

災害時回復: 予期しない事態への備え

あらゆるデータ保護プログラムの重要な要件は、火災、洪水、またはその他の災害といった予期しない出来事によるオフィスの損失から回復する能力です。この要件を満たすには、同じ出来事から影響を受けないように、各オフィスの使用可能なデータのコピーを十分離れた場所に保管する必要があります。

状況に適応可能な災害時回復は、バックアップ統合、中央管理、セキュリティ、ネットワーク効率、および優れたリカバリー・オプションを提供する Tivoli Storage Manager FastBack の統合された機能です。これらの機能は、サイト間で単純に

データのレプリカを生成するだけでなく、災害時回復に柔軟なポリシー・ベースのアプローチを提供するため、企業がオフィス・ベースの複雑なビジネス・ニーズのバランスを保つのを支援します。

狭い帯域幅によるデータ保護

管理者は、Tivoli Storage Manager FastBack の高度なポリシー・エンジンを使用して、アプリケーション・ベースでバックアップ頻度を選択できます。バックアップの実行頻度を必要に応じて設定して、最も重要なアプリケーションが厳しいリカバリー・ポイント目標 (RPO) を確保するようにすれば、ネットワークの帯域幅を無駄にすることなく、重要度の低いデータにも同じようにリカバリー・ポイント目標 (RPO) を確保できます。ポリシーを要件に適合させることによって、IT 組織は帯域幅と費用を節約できます。また、各アプリケーションのニーズに基づいて、それぞれのローカルおよび災害時回復データ・セットを保持する期間を選択することもできます。

機能	利点
ブロック・レベル増分収集	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーション・サーバーに対する影響が非常に小さく、仮想マシンに最適 ● バックアップ時間枠が不要 ● 大量の小さなファイルや、データベースなどの非常に大きなファイルのいずれにも優れたパフォーマンスを発揮
ポリシー・ベースのバックアップ・エンジン	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションのリカバリー要件を、処理、ネットワーク、およびストレージ・リソースとバランス ● 継続的データ保護 (CDP)、または定期的/スケジュールされたスナップショットを選択 ● 基幹業務アプリケーションのリカバリー・サービス・レベルを向上させるとともに、コスト削減を支援
ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) バックアップ	<ul style="list-style-type: none"> ● ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) の帯域幅に影響を与えない SAN ベースのバックアップ・プロセス
FastBack マウント/Virtual Recovery	<ul style="list-style-type: none"> ● バックアップ・リポジトリの内容を表示するファイル・システム・ビューにより、あらゆるファイルやフォルダをクリック・ドラッグ・ドロップ操作でリカバリー可能 ● バックグラウンドでリカバリー中に、あらゆるボリュームへのフル・アクセスを数秒でリストア ● オプションのペア・マシン・リカバリー・コンポーネントによって、完全なシステム障害を異機種ハードウェアにもリカバリー
特定時点リカバリー	<ul style="list-style-type: none"> ● 以前のどの特定時点にもロールバックして、過失による削除、ウィルスによる攻撃、周期的な破損などから回復する ● 以前の世代を何世代でも保守する
リモート・オフィス・サポート	<ul style="list-style-type: none"> ● バックアップ・システム管理のコスト削減を支援する ● バックアップとリカバリーのサービス・レベル向上を支援する ● 信頼性の向上とリカバリー障害の最小化を支援する
テープ・インフラストラチャータとの統合	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの投資を活用 ● アプリケーション・サーバーからテープ・バックアップの負荷を削減
中央管理	<ul style="list-style-type: none"> ● すべてのバックアップとリカバリー運用を中央で管理 ● 単一の Web ベース・インターフェース ● ローカル・オフィスとリモート・オフィスの両方を管理
フル・オートメーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 「設定後はシステムに任せる」ポリシー・エンジン ● 自己管理機能を備えたりポジトリが設定されたデータ反復数を常に持って、ロールバックを容易にし、リカバリーを高速化
アプリケーションを意識した	<ul style="list-style-type: none"> ● Exchange、SQL、Oracle、SAP など、あらゆる Windows ベース・アプリケーションのための統合サポート ● オプションの IBM Tivoli Storage Manager FastBack for Microsoft Exchange コンポーネントは、粒度の細かい Exchange データ・オブジェクトを素早く回復

Tivoli Storage Manager FastBack は、WAN またはインターネット経由のデータ転送を、使用可能な帯域幅を最も効果的に使用して他のアプリケーションへの影響を制限するようにスケジュールできます。ソフトウェアは、最後に行ったオペレーション以降に変更があったデータ・ブロックのみをブロック・レベル増分モデルを使用して転送します。このモデルでは、標準的なレプリカ生成やファイル・ベースのバックアップ統合ソリューションと比較して、WAN またはインターネット経由で転送されるデータ量が大幅に減少します。また、Tivoli Storage Manager FastBack は多数の小さなファイルを自動的にバンドルするため、TCP/IP ファイル転送に伴う待ち時間のオーバーヘッドも劇的に減少します。

帯域幅を最大限に使用するためにマルチスレッド処理が使われますが、災害時回復データとプロダクション・データを同時に転送する必要がある場合は、Tivoli Storage Manager FastBack が使用しようとする帯域幅を制限できます。Tivoli Storage Manager FastBack は、データ転送量を最大 50 パーセント減少させることができる業界標準の圧縮オプションも提供しています。

中央制御

Tivoli Storage Manager FastBack は、数百のリモート・サーバーのデータを中央にある単一のデータ・センターに統合できます。中央制御ステーションは、リモート・コントロール機能の他にモニターおよび管理インターフェースも提供するため、分散した災害時回復プロセスの状況やリモート・オフィスの運用状況へのフル・アクセスを得ることができます。

リモートおよび中央でのオペレーションの統合

リモート・オフィスからのデータを回復する能力は、リモート・オフィスの数とそのデータ量が増加するにつれてますます重要になってきています。Tivoli Storage Manager FastBack は IBM Tivoli Storage Manager の統合コンポーネントであるため、リモート・オフィスを持つ組織がアーカイブ、保存、コンプライアンスといったストレージ関連のコア・プロセスにリモート・データを追加するのが容易になります。このソフトウェアが状況に適応可能な災害時回復機能を備えているため、転送中のデータ損失リスクが最小化されるとともに、リモート・データのコピーを中央サイトや災害時回復サイトに送信するのも容易になります。

セキュリティーおよび信頼性

Tivoli Storage Manager FastBack は、リモート・オフィスで仮想プライベート・ネットワーク (VPN) やその他のセキュアなチャネルを使用できない場合に、業界標準の Secure Sockets Layer (SSL) 暗号化を提供します。このソフトウェアのプロトコルは、業界標準の Secure File Transfer Protocol (FTP/S) によるアウトバウンド接続を使用して転送するため、リモート・オフィスでカスタム・ファイアウォールを構成する必要がなくなります。

災害時回復操作でのデータの保全性を確保するために、中央の災害時回復リポジトリに送信されたデータは、すべてのデータが受信され、検証されるまでコミットされません。Tivoli Storage Manager FastBack は、自己修復機能を活用して信頼性が高い使用可能なリカバリー・リソースを保守します。

拡張されたバックアップおよびリカバリー・ソリューション

IBM Tivoli Storage Manager 製品ファミリーの一部である IBM Tivoli Storage Manager FastBack は、IBM Tivoli Storage Manager FastBack for Microsoft Exchange や IBM Tivoli Storage Manager FastBack for Bare Machine Recovery などの追加コンポーネントによって拡張が可能です。IBM Tivoli Storage Manager FastBack Center は、コア・アプリケーションとこれら 2 つの追加モジュールを結合したバンドル・ソリューションとして、フル・セットの機能を提供します。

Tivoli Storage Manager FastBack を IBM Tivoli Storage Manager と併用すると、お客様は拡張されたデータ保護、アーカイブ、保存、およびリカバリー・ソリューションの利点を活かすことができます。このソリューションはリスクおよびコストの削減を支援する他、卓越したレベルのサービス管理の提供を支援できます。

IBM Tivoli Storage Manager FastBack 概要

システム要件:

オペレーティング・システム

- Microsoft Windows 2003 Enterprise Server (SP1 以降)
- Microsoft Windows XP Pro (SP1 以降)

プロセッサ

- Intel® Pentium® または互換プロセッサ、1GHz 以上 (2GHz 以上を推奨)

メモリー

- 1 GB の RAM (2 GB の RAM を推奨)

使用可能なディスク・スペース

- 300 MB

LAN 接続

- NIC 1 枚、100 Mbps (1 Gbps を推奨)

リポジトリ

- IDE、SCSI、iSCSI、またはファイバー・チャネル・ディスクのいずれか、プライマリー・ストレージ容量の 3 倍 (5 倍を推奨)

サポートするプラットフォーム:

- Microsoft XP Professional Service Pack 1 以降
- 2000 Professional、Service Pack 3
- 2000/3 Server および Advanced Server
- Windows Volume Management (LDM)
- Windows Cluster

Microsoft Cluster のサポート

- Microsoft Windows 2003 Cluster Server 構成をサポート

Microsoft VSS のサポート

- Microsoft VSS ライターと統合して Exchange および SQL Server をバックアップ
- 注: VSS は、Windows 2003 より前のプラットフォームでは使用できません。

Microsoft Exchange のサポート

- Microsoft Exchange 2000
- Microsoft Exchange 2003
- Microsoft Exchange 2007

Microsoft Active Directory のサポート

- Microsoft Active Directory と統合して管理およびセキュリティーを向上

管理

- Java™ ベースの GUI、SNMP および CLI



詳細情報

IBM Tivoli Storage Manager FastBack について、詳しくは IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、ibm.com/jp/software/tivoli/ をご覧ください。

IBM の IBM Tivoli ソフトウェアについて

Tivoli ソフトウェアは、可視性、コントロール、およびオートメーションによって高品質のサービスを実現するためのサービス・マネジメント・プラットフォームを組織に提供します。この場合、可視性とはビジネスの仕組みを確認して理解するためのもの、コントロールとはビジネスを効果的に管理し、リスクを最小化し、ブランドを保護するためのもの、自動化とはビジネスを最適化し、運用コストを削減し、新しいサービスをより迅速に提供するためのもの

です。IT 中心のサービス管理とは異なり、Tivoli ソフトウェアは、ビジネスとテクノロジー両方の要件を管理、統合、および調整するための共通のファウンデーションを提供します。Tivoli ソフトウェアは、組織の最も差し迫ったサービス・マネジメントのニーズに対処し、変化しつつあるビジネスの要求に積極的に対応するのを支援するように設計されています。Tivoli ポートフォリオは、ワールドクラスの IBM サービス、IBM サポート、および IBM ビジネス・パートナー様のアクティブなエコシステムによって支援されています。Tivoli のお客様やビジネス・パートナー様は、独自に運営されている世界各国の IBM Tivoli User Groups に参加してお互いのベスト・プラクティスを活用することもできます。詳しくは www.jtug.org/ をご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2008

日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan

July 2008

All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、DB2、FastBack、Tivoli は、IBM Corporation の商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Intel、Pentium は Intel Corporation またはその子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

特記事項: お客様は自己の責任で法規定を遵守しなければならないものとします。お客様のビジネスに影響を与える可能性がある関連法および法的要求事項の確認と解釈、並びにかかる法を遵守するためにお客様がとる必要のある措置に関して、弁護士の適切な助言を得ることはお客様のみにかかる責任とさせていただきます。IBM は法律上の助言を提供することはいたしませんし、また、IBM のサービスまたは製品は、お客様があらゆる法を遵守していることの裏付けとなることを表明し、保証するものでもありません。

TAKE BACK CONTROL WITH Tivoli.